



# 縁

この地球上で、この場所で  
こうして出会えた奇跡に感謝  
こうしてかかわり合うことが  
できる縁を大事にしましょう

平戸市立大島中学校  
平成30年度学校だよりNo.1  
平成30年4月6日  
文責 校長 吉尾直樹

## 新しい出会い、新しい学年のはじまりにあたって 4月6日 始業式



4月6日に始業式を行い、新しい学年がスタートしました。2・3年生17名はそれぞれに決意をもって、新年度を迎えたと思います。顔をしっかりと上げ、私の話を聞く姿勢がすばらしいと感じました。9日には入学式があり、10名の1年生が入学し、学校もにぎやかになります。2・3年生が先輩として、どのような姿を後輩たちに示してくれるのか楽しみです。

始業式にあたって、校長から次のことをみなさんにお願いしました。

3年生は、この大島中の最高学年として最後の大島中での活動について、悔いを残さないように存分に力を発揮してください。

2年生は昨年度は先輩に教えてもらおうばかりだったかもしれません。来週には後輩たち10名が入学してきます。先輩としてどんな背中を後輩に見せるのかが大事です。2年生として、これから何に力を入れ、目標とするのかを改めて考えましょう。

竹の一種の真竹は1日に1.7mも伸びることがあります。そして、しなやかで強いのです。その秘密は何でしょう。それは「節」があるからなのです。急に伸びれば、ひょろひょろになってしまい、折れやすくなります。しかし途中にいくつもの節があるので折れずに、全体をぐっと伸ばすことができます。

4月はたけのこの旬、おいしい季節です。食べるときによく見ると、いくつもの節があることがわかります。その数は真竹で約70個あります。つまり、節の数はたけのこでも成長した竹でも同じなのです。つまり、たけのこは土の中でしっかりと節を準備し、そして地面に出てから、その節と節の間をググッと伸ばし、節を太くして大きく成長するのです。

今の私たちは、まさに土の中のたけのこ。さまざまな活動の中で、しっかりと節を刻み、大きく伸びるときに備えているのです。だから、この進級は節を意識するための大切な「節目」。ここにこれから自分の目標をしっかりと立て、ひとつひとつの達成感を大切な節として心に刻んでいきましょう。

2年生代表の山口さん、3年生代表の永井くんは、それぞれの決意や後輩への思いをしっかりと話しました。ぜひ、後輩からあこがれられるような先輩になってください。



- 9日入学式 10・11日3年生実力テスト
- 12日避難訓練 欢迎遠足(弁当の日)
- 17日3年生全国学力・学習状況調査(国数理) 2年生県学力調査(国数)
- 18日3年生県学力調査(英) PTA総会 23~25日家庭訪問



### 着任式

始業式に先立って着任式を行い、吉尾直樹校長、村野涉先生の2名が着任のあいさつをしました。新しい力でこの大島中学校をさらによくしていきます。それぞれの前任校等については、別の文書でお知らせしていますので、よろしくお願ひします。

春は出会いの季節。多くの人と出会い、その人から刺激を受けることで人は大きく成長します。これは、先生も同じ。この大島中学校というステージで、生徒も保護者の皆様もわれわれも、互いに大きく成長する一年間にていきましょう。この学校だよりでは、子どもたちの頑張りを中心にお知らせします。ぜひ、ご家庭での話題にしてください。



「どんな人間でも、自分が思っている以上のこと成し遂げられるものだ。」

ヘンリー・フォード（実業家／アメリカ）

夢や目標は、より明確になると私たちを強くその方向に引っ張ってくれる。ただ、この夢や目標は変わることがある。ひとつの目標を達成すると、だんだんより大きな目標に挑戦したくなるのが人間の特徴。前向きに生き続けることこそが人間が持っている性質なのである。だから、夢を追い続ける人、頑張り続ける人は、自分の力がどんどん大きくなることを実感する。自分の思いがすべての出発点。